

# サポート資源提供システム 2011年度事業計画・予算

2011年4月1日～2012年3月31日

サポート資源提供システム 事務局

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

「サポート資源提供システム」は、本格運用9年目、「地域貢献サポートファンドみんな(みんなファンド)」は、運用8年目に突入する。この9年半で、4940点の物品、309台のパソコン、5778万円の資金、2.5haの土地を、地域の市民活動団体に提供してきた実績は、地域の資源仲介システムの先駆モデルとして全国的にますます高く評価されている。

2011年3月11日には東日本大震災が発生し、せんだい・みやぎNPOセンターでも震災への対応としてみやぎ連携復興センター、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)などのプロジェクトを急遽実施した。サポート資源提供システムに直接関係するものとしては、みんなファンド内に「はばたけ!みやぎNPO復興活動応援基金(はばたけファンド)」を設置し、震災の救援・復興支援活動を行うNPOと被災したNPO向けに助成を行うこととした。さらに、この震災を機に、懸案であったファンドの公益財団化に着手し、一般財団法人地域創造基金みやぎを設立した。当面は、みんなファンドと財団とで並行して運営していく予定である。

2011年度は、サポート資源提供システムも震災関連のプロジェクトと連携を取り、震災復興に向けた取り組みにも積極的に資源提供していきたい。また、震災の影響もあり、企業からの問い合わせも増えており、企業のCSR推進、資源提供につなげていく。一方で、NPOの情報開示・情報発信が、社会からの共感・信頼につながり、支援の獲得に影響することも、震災で如実に現れてきている。よって、ライブラリーとポータル、ブログによる情報開示・情報発信支援もさらに進め、資源の提供効果を高めていきたい。

## [資源提供目標]

・システム協賛企業・団体	8社
・システム提携企業・団体	10社
・提供資金	1700万円
・提供物品(中古オフィス備品)	随時
・ライブラリー登録NPO	170団体

## [事業]

- 運営委員会 第1回(6/28)、第2回(2012年1月頃)開催予定
- セミナー等 企業対象のセミナーの開催等
- 情報発信 地域公益活動ポータルサイトみんな等による情報発信

## [事務局組織体制]

- ・全体責任者担当／紅邑晶子(A)
- ・全体副責任者・企業コミュニケーション担当／伊藤浩子 (B)
- ・「資金」担当者／伊藤浩子 (B)、布田剛 (C)
- ・「物品 (中古オフィス備品)」担当者／小川真美 (D)
- ・「情報発信・ライブラリー管理等」担当者／小川真美 (D)
- ・会計事務担当／遊佐さゆり(E)
- ・担当理事／大滝精一、加藤哲夫、紅邑晶子  
木村正樹、針生英一、増子良一

## [年 間 予 算]

### ●収入の部

システム協賛金：	6社×5万円+2社×10万円=50万円
事業収入：手数料収入等	230万円
負担金：せんだい・みやぎNPOセンター	200万円
合 計：	480万円

### ●支出の部

人件費： $A \times 1/10 + B \times 1/10 + C \times 4/5 + D \times 1/5 + E \times 1/10 =$	321万円
管理費：社会保険料等	39万円
家賃、光熱費等 1/10	24万円
事業費：講師謝金	5万円
ゲスト謝金	20万円
交流会費	5万円
会場費	10万円
運搬費	4万円
旅費交通費	20万円
打合会議費	1万円
支払い手数料	2万円
事務局費：消耗品費	5万円
通信費	10万円
予備費：	9万円
合 計：	480万円